

# 安全保障戦略研究

第1巻 第2号 2020年10月

## 目次

人民解放軍から見た人工知能の軍事に対するインパクト	1 飯田 将史
人民解放軍の智能化戦争 — 中国の軍事戦略をめぐる議論 —	15 八塚 正晃
核弾頭の解体・廃棄と「有志国検証アプローチ」 — 核兵器禁止条約（TPNW）の検証制度整備に向けた一考察 —	35 一政 祐行
地政学の再考 — 地政学と米国の台湾防衛コミットメント —	57 前田 祐司
国連海洋法条約とインド — 「航行の自由」と沿岸国の安全保障利益の間 —	79 伊豆山 真理
陸上自衛隊の13個師団体制成立時の課題とその後の防衛力整備 — 定数18万人の達成まで —	97 日田 大輔
中国の「日本中立化」政策と対日情勢認識 — 「断絶」情勢下での自民党分断工作（1958年5月-1959年11月） —	115 杉浦 康之
20世紀後半のエジプトにおける反イスラム主義思想 — ファラグ・フォーダの『隠された真実』を事例に —	139 西野 正巳
日本軍政期のフィリピンにおける陸軍の治安維持	165 立川 京一
英文要旨 (Summaries in English)	183
編集後記・投稿のご案内	